

大綱の位置づけ

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に基づく、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の基本的な方針
- 教育基本法第17条第2項の規定に基づく「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として、施策の方向性や具体的な取組みを示す

対象期間

- 2026（令和8）年度から2030（令和12）年度までの5年間

枠組み

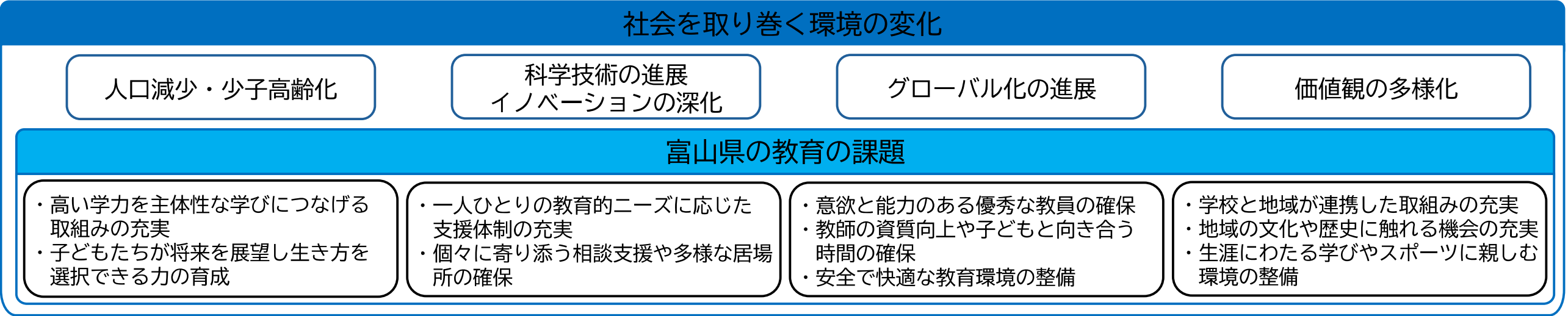
- 「基本理念」－「教育方針」－「主な施策の方向性」で構成

推進にあたっての視点

- 「富山・金沢こどもサミット宣言」の精神を踏まえた施策を推進

実効性の確保と弾力的な見直し

- 取組みの進捗状況を把握するための参考指標を設定
- 状況に応じて、取組みの内容を弾力的に見直す



県民一人ひとりが将来に夢と希望を持ち、自らの望む豊かな人生を築いていけるよう、教育を推進していくことが必要

[基本理念]
生涯にわたる学びを通して、県民一人ひとりのウェルビーイングを高める

〔基本理念〕

生涯にわたる学びを通して、県民一人ひとりのウェルビーイングを高める

教育方針1

一人ひとりの可能性を引き出す
質の高い教育の実現

主な施策の方向性（１）

子どもの才能や個性を伸ばす
教育の推進

【施策項目】

- ① 確かな学力の育成
- ② グローバル社会における人材育成

主な施策の方向性（２）

様々な体験を通じた
社会で生きる力の育成

【施策項目】

- ① キャリア形成に必要な力の育成
- ② 主体的に社会参画する能力の育成

主な施策の方向性（３）

私立学校や高等教育機関の振興

【施策項目】

- ① 私立学校教育の振興
- ② 高等教育の振興

教育方針2

多様なニーズに対応した
きめ細かな教育と支援の展開

主な施策の方向性（４）

誰一人取り残さない多様性と
包摂性のある教育の推進

【施策項目】

- ① 特別支援教育の充実
- ② 多様な学びの機会の確保

主な施策の方向性（５）

学校・家庭・地域で取り組む
子どもの健やかな成長の支援

【施策項目】

- ① いじめ防止対策の徹底と人権教育
- ② 健康教育と食育の推進
- ③ 読書活動の推進
- ④ 家庭教育への支援
- ⑤ 児童生徒の安全の確保

教育方針3

子どもたちの学びを支える
教育環境を構築

主な施策の方向性（６）

学校の特色と魅力を高め、
安全で快適に学べる学校づくり

【施策項目】

- ① 魅力ある県立学校づくりと魅力の発信
- ② 学校のＩＣＴ環境の整備
- ③ 学校の施設・設備の整備の充実

主な施策の方向性（７）

教師が意欲と能力を高め、
子どもと向き合える環境づくり

【施策項目】

- ① 学校における働き方改革の推進
- ② 教師の資質能力の向上
- ③ これからの教育を担う教員の確保

教育方針4

社会の持続的発展に向けて
学ぶことのできる機会の提供

主な施策の方向性（８）

スポーツや文化芸術に親しむ
機会の充実

【施策項目】

- ① 部活動等を行う環境の整備
- ② スポーツの振興
- ③ 文化芸術の振興
- ④ 伝統文化の保存・継承

主な施策の方向性（９）

生涯にわたる多様な学びの推進

【施策項目】

- ① 生涯学習の充実

主な施策の方向性（10）

地域に学び地域の創生に
つながる活動の推進

【施策項目】

- ① 地域とともに取り組む活動の推進
- ② ふるさと教育の推進

未来に向けて、子どもたちが自ら考え行動すること

【富山・金沢こどもサミット宣言】

- 1 夢や目標を持ち、自分のよさや可能性を生かします
- 2 多様性を受け入れ、他者を理解・尊重します
- 3 住みやすく、誰もが誇れるまちをつくります
- 4 持続可能で幸福な社会を実現します
- 5 100年後の明るい未来のためにバトンをつないでいきます

教育方針 1 一人ひとりの可能性を引き出す質の高い教育の実現

主な施策の方向性（１）
子どもの才能や個性を伸ばす教育の推進

施策項目① 確かな学力の育成

◆施策で目指す姿

- 子どもは、就学前から高等学校までの一貫した教育の中で、基礎的な学力を確実に定着させており、探究的な学習や専門的な学びを通じて、自分で考え、自ら取り組む力を身につけています。
- 学校では、主体的・対話的で深い学びを実践し、地域や企業、大学などと連携して多様な学習の機会が提供されており、子どもたち一人ひとりの知的好奇心を満たし、学力や個性を伸ばしています。

◆施策

- (ア) 就学前から小・中・高等学校への連続性を意識した主体的、対話的な学びや、少人数教育等を推進します。
- (イ) 地域や企業、大学など実社会とのつながりを意識した探究的な学びや課題解決型学習（PBL）を推進します。
- (ウ) 子どもたちの才能を早期に発見し、その能力を最大限に伸ばさせるための体系的な取組みを展開します。

施策項目② グローバル社会における人材育成

◆施策で目指す姿

- 子どもは、外国語によるコミュニケーション能力を高め、異文化への理解を深めることで、グローバルな視野を持ち、多様な人々と協働して国際社会で活躍する意欲を持っています。

◆施策

- (ア) 教師の英語力向上をはじめとする英語教育の充実を図り、高校生の海外研修など国際交流を推進するとともに、グローバルに重点を置く教育環境の整備を進めます。

主な施策の方向性（２）
様々な体験を通した社会で生きる力の育成

施策項目① キャリア形成に必要な力の育成

◆施策で目指す姿

- 子どもは、自己の在り方や生き方を探求し、学習と自己の将来とのつながりを見通しながら、主体的に進路を選択・決定できる能力と態度に加え、生涯にわたって自らのキャリアを発展させていく力を身につけています。
- 教師は質の高いキャリア教育やライフプラン教育を実践できるよう、キャリア教育や進路指導に関する専門性を向上させています。

◆施策

- (ア) 子どもたち一人ひとりが将来、社会的に自立するとともに、社会の変化に主体的に対応しながら自らのキャリアを発展させていけるよう、キャリア教育を推進するとともに、ライフプラン教育を充実します。
- (イ) 体系的な研修を通じて、教師がキャリア教育や進路指導に関する最新の知見や効果的な指導法を習得する機会を提供します。

施策項目② 主体的に社会参画する能力の育成

◆施策で目指す姿

- 子どもは、主体的に社会に参画する能力と当事者意識を身につけています。

◆施策

- (ア) 地域社会の魅力や課題等に直接触れられる場や、自らの意見を表明し、意見交換をする機会を提供します。

主な施策の方向性（３）
私立学校や高等教育機関の振興

施策項目① 私立学校教育の振興

◆施策で目指す姿

- 子どもは、家庭の経済状況等に関わらず、希望や適性に応じて自らの進路を選択しています。
- 子どもは、私立学校が建学の精神に基づく特色と魅力ある教育を展開することにより、幅広い選択肢の中から主体的に進路を選択しています。

◆施策

- (ア) 私立学校の特色と魅力ある教育を高めるための取組みを支援します。
- (イ) 私立学校の入学料や授業料への支援など、修学にかかる経済的負担の軽減を図ります。

施策項目② 高等教育の振興

◆施策で目指す姿

- 県民は、県内の大学等で質の高い専門教育を受け、地域や世界の課題解決に貢献できる高度な知識と実践力を身につけています。
- 県民は、大学等の高等教育機関が産業界や地域社会との連携を深め、富山県の発展を牽引する人材育成とイノベーション創出の拠点となっていることにより、社会の発展と未来への希望を実感しています。

◆施策

- (ア) 県立大学の安定的な運営を支援するとともに、社会ニーズの変化に的確に対応した機能強化を促進します。
- (イ) 県内大学等の横の連携や大学・地域間の連携を促進します。
- (ウ) 大学や企業などが一体となったコンソーシアムを形成し、産業界が求める高度な知識と実践力を備えた専門人材を育成します。
- (エ) 学生がグローバルな視点や起業家マインドを涵養する機会を創出します。

教育方針2 多様なニーズに対応したきめ細かな教育と支援の展開

主な施策の方向性（４）
誰一人取り残さない多様性と包摂性のある教育の推進

施策項目① 特別支援教育の充実

- ◆施策で目指す姿
 - ・子どもは、障害の状態や特性、教育的ニーズに応じた専門的な指導や支援を受け、医療的ケアが必要な場合でも安心して学校生活を送りながら、自立と社会参加に向けた力を育んでいます。
 - ・教師は、研修等を通じて専門性を高め、医療機関等の関係機関と緊密に連携しながら、一人ひとりの子どもに最適な教育を実践しています。
- ◆施策
 - （ア）子どもたち一人ひとりに寄り添うための体制を強化し、インクルーシブ教育システムの理念に基づく教師の特別支援教育への専門性の向上を図ります。
 - （イ）医療的ケアが必要な子どもや、通学に支援が必要な子どもが、安全・安心に学校生活を送れるための環境を整備します。
 - （ウ）子どもたちの社会的自立を促します。

施策項目② 多様な学びの機会の確保

- ◆施策で目指す姿
 - ・子どもは、国籍、家庭環境といった様々な背景や不登校などの困難に関わらず、一人ひとりの状況に応じた多様な場で学びを継続したり学び直しをしたりしています。
 - ・子どもは、それぞれの状況に応じて校内で落ち着いて過ごすことができおり、学校を楽しい場所、行きたい場所と感じています。
- ◆施策
 - （ア）不登校など児童生徒の諸課題に対して、必要な支援を行います。
 - （イ）日本語指導や生活適応指導などの充実を図り、外国人児童生徒の増加に対応します。
 - （ウ）様々な理由により十分に義務教育の機会を得られなかった方などが、学ぶための夜間中学を設置します。

主な施策の方向性（５）
学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援

施策項目① いじめ防止対策の徹底と人権教育

- ◆施策で目指す姿
 - ・子どもは、いじめや偏見のない環境の中で、人権を尊重し、生命の大切さを理解し、互いを思いやる豊かな人間関係を築いています。
 - ・教師は、生徒指導や教育相談に関する専門性を高め、いじめの未然防止・早期発見に努め、組織的に対応しています。
- ◆施策
 - （ア）いじめやインターネット上のトラブルなど子どもたちを取り巻く喫緊の課題に対し、未然防止、早期発見・早期対応を徹底するための体制を強化します。
 - （イ）教師の生徒指導の資質能力の向上と、学校現場を支える指導体制を整備します。
 - （ウ）いじめや偏見・差別をなくし、子どもたちがお互いに尊重し合う人間関係を築くための人権教育や道徳教育を推進します。

施策項目② 健康教育と食育の推進

- ◆施策で目指す姿
 - ・子どもは、運動に親しむ習慣を身につけるとともに、食に関する正しい知識に基づいて望ましい食生活を実践し、心身ともに健康な生活を送るための基礎を培っています。
- ◆施策
 - （ア）運動やスポーツを通じて健やかな体と、多様性を認め合う豊かな心を育む取組みを推進します。
 - （イ）自身の健康を生涯にわたって維持・増進するための食育や、危険から身を守るための健康安全教育を推進します。

施策項目③ 読書活動の推進

- ◆施策で目指す姿
 - ・子どもは、充実した読書環境の中で、自主的に本に親しみ、読書の楽しさを知ることによって、豊かな感性や思考力、想像力を育んでいます。
- ◆施策
 - （ア）子どもの自主的な読書活動を推進するとともに、家庭・地域との連携や学校図書館の機能充実などを図り、誰もが本に親しめる読書環境の整備を推進します。

施策項目④ 家庭教育への支援

- ◆施策で目指す姿
 - ・保護者は、子育てに関する悩みや不安を気軽に相談でき、必要な情報や支援を得られることで、安心して家庭教育を行っています。
 - ・子どもは、家庭の様々な事情に関わらず、十分に学んでいます。
- ◆施策
 - （ア）保護者が子育ての悩みを共有し学び合う機会を設けるとともに、子育てに関する情報を提供することにより、家庭教育を支援します。
 - （イ）子どもや保護者が抱える心の悩みや、福祉的な課題に早期に対応するため、専門的な人材を活用したきめ細かな相談支援体制を整備します。
 - （ウ）意欲と能力がある生徒が、経済的な理由で学業の継続を断念することのないよう、多様な経済的支援制度を整備し、教育の機会均等を保障します。

施策項目⑤ 児童生徒の安全の確保

- ◆施策で目指す姿
 - ・子どもは、自らの安全を守るための知識と能力を身につけ、犯罪や災害、交通事故等から守られた安全な環境で安心して学校生活を送っています。
- ◆施策
 - （ア）地域の協力を得て児童生徒の登下校時の安全対策を推進します。

教育方針3 子どもたちの学びを支える教育環境を構築

主な施策の方向性（6）
学校の特色と魅力を高め、
安全で快適に学べる学校づくり

施策項目① 魅力ある県立学校づくりと魅力の発信

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 県立高等学校では、社会の変化や生徒のニーズを踏まえ、それぞれのスクール・ポリシーに基づいた特色ある教育活動を展開し、子どもたちは、それぞれの目標に向かって充実した学校生活を送っています。
 - ・ 中学生は、各高等学校の特色や魅力を十分に理解した上で、自らの興味・関心や将来の夢に応じて主体的に進路を選択し、未来を切り拓く力を育んでいます。
- ◆施策
 - （ア）国の高校教育改革の動向を視野に入れつつ、将来においても高校生が未来を切り拓き、夢を叶えることができるよう「新時代とやまハイスクール構想」を進めます。
 - （イ）スクール・ポリシーを基にこれまでの各県立高等学校の取組みの実績を活かしつつ、魅力ある学校づくりを推進し、その魅力を発信します。

施策項目② 学校のICT環境の整備

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 子どもは、整備されたICT環境のもと、1人1台端末を日常的に活用し、個別最適な学びや協働的な学びを深め、情報活用能力を身につけています。
 - ・ 教師は、ICTを効果的に活用した質の高い授業を実践しています。
- ◆施策
 - （ア）ICTを日常的に活用した学びを推進するため、学校のICT環境を整備するとともに、学習活動に即した円滑な利用の仕組みを充実します。
 - （イ）ICTを活用した授業により、児童生徒の情報モラルやメディアリテラシーを含む情報活用能力など、学習の基盤となる資質・能力を育成するとともに、教育活動の質が高まるよう教師のICTや生成AIの活用指導力の向上や校務のデジタル化を支援します。

主な施策の方向性（7）
教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり

施策項目① 学校における働き方改革の推進

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 子どもは、教師がゆとりを持って一人ひとりと向き合うことで、安心して学校生活を送っています。
 - ・ 教師は、心身ともに健康で、自らの資質能力を高めるための時間を確保しています。
- ◆施策
 - （ア）学校における多忙化の解消のため、教師の業務を切り分け、外部人材の活用や教育DXの展開など業務の効率化と質の向上を一体的に推進するとともに、教師のメンタルヘルスケアや健康管理を支援します。
 - （イ）複雑化・多様化する教育課題に対応するため、専門的な知識や技能を持つ外部人材を積極的に活用します。
 - （ウ）すべての子どもに目が行き届き、質の高い教育環境を整備するために、必要な教職員定数の確保や適正な配置を進めます。

施策項目③ 学校の施設・設備の整備の充実

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 子どもは、安全・安心で快適な教育環境の中で、学習しています。
 - ・ 学校では、施設の空調整備が進んで熱中症対策が強化されており、災害時には地域の避難所としての防災機能が強化されています。
- ◆施策
 - （ア）誰もが安全・安心で快適な教育を受けられる環境を確保するため、県立学校の持続可能な教育環境の整備を計画的に進めます。
 - （イ）災害時の避難所としても活用できるよう、防災機能強化を推進するとともに、県内における相互支援体制の構築を進めます。

施策項目② 教師の資質能力の向上

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 教師は、研修を通じて常に専門性と指導力を高め、社会の変化に対応した質の高い教育を実践しています。
 - ・ 教師は、安全・安心な勤務環境のもと、お互いに学び合い、より高め合う関係を築いており、組織として教育力を向上させています。
 - ・ 子どもは、高い専門性と豊かな人間性を備えた教師から質の高い授業を受けています。
- ◆施策
 - （ア）教師一人ひとりがキャリアの各段階で求められる資質能力を確実に身につけられるよう、体系的な研修を充実するほか、熟達した教師がもつノウハウの伝承を通じて実践的指導力を高めるなど、探究心を持ちつつ、自律的に学ぶ機会を充実させます。
 - （イ）教師の自主的な学びを支援し、大学等への教師の派遣や大学との連携協力を推進することで、より高度な実践的指導力を備えた、学校現場の核となる教師を養成します。
 - （ウ）指導者の専門性と危機管理能力の向上を図るための研修を実施します。

施策項目③ これからの教育を担う教員の確保

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 教員を目指す人材は、高い志と情熱を持って富山県の教員となることを目指しています。
 - ・ 新規採用教員は、採用前から質の高い研修を受けており、自信と意欲を持って教壇に立っています。
- ◆施策
 - （ア）中学生から社会人まで幅広く教員の魅力を発信するなど、積極的な広報活動を展開し、将来の教育を担う教員の確保を図るとともに、採用後に自信をもって活躍できるよう、採用前研修を実施します。

教育方針4 社会の持続的発展に向けて学ぶことのできる機会の提供

主な施策の方向性（8）
スポーツや文化芸術に親しむ機会の充実

施策項目① 部活動等を行う環境の整備

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 生徒は学校や地域において、高い専門性を持つ指導者のもとでスポーツや文化芸術活動に継続して取り組み、自らの可能性を伸ばしています。
 - ・ 地域社会では、地域のスポーツクラブや文化団体等が学校と連携し、子どもたちの活動を支える持続可能な環境が構築されています。
- ◆施策
 - （ア）市町村が取り組む中学校部活動の地域展開を支援するとともに、児童生徒がスポーツや文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。

施策項目② スポーツの振興

- ◆施策で目指す姿
 - ・ すべての県民は、年齢や障害の有無にかかわらず、身近な場所でスポーツに親しみ、健康で活力ある生活を送っています。
- ◆施策
 - （ア）誰もがスポーツに親しむことができる環境を整備するとともに、大規模イベントから身近な地域での活動まで、多様なスポーツ機会を創出します。
 - （イ）本県を代表するアスリートが、国民スポーツ大会や国際大会等の大舞台で最高のパフォーマンスを発揮できるよう、計画的な育成・強化体制を構築します。
 - （ウ）県民の活発なスポーツ活動を持続可能なものとするため、指導者の確保・育成、市町村との連携、スポーツ団体への支援を行います。

主な施策の方向性（9）
生涯にわたる多様な学びの推進

施策項目① 生涯学習の充実

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 県民は、人生100年時代を見据え、自らのニーズに応じた学習を主体的に行い、その成果を活かして豊かな人生を築いています。
- ◆施策
 - （ア）個人の興味・関心を深め教養を高める学びや、変化する社会に対応するためのリカレント教育やスキルアップ・リスキリングなど、県民のライフステージや目的に応じた多様な学習機会を提供します。
 - （イ）誰もが主体的に学習に取り組めるよう、生涯学習・社会教育を支える環境を整備します。

施策項目③ 文化芸術の振興

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 多くの県民が美術館等を訪れ、文化芸術に親しんでいます。
- ◆施策
 - （ア）美術館、博物館でのワークショップや学校等における音楽鑑賞など、子どもが文化芸術に触れ親しむ機会を拡充します。
 - （イ）美術館、博物館や文化ホールなど県民に身近なところで、誰もが美術や文学、音楽、演劇など、多彩で質の高い文化芸術に親しむことのできる機会の充実を図ります。

施策項目④ 伝統文化の保存・継承

- ◆施策で目指す姿
 - ・ すべての県民は、地域の宝である文化財や伝統文化の価値を深く理解し、その保存と継承活動に主体的に関わることで、郷土への誇りと愛着を育んでいます。
- ◆施策
 - （ア）地域資源の価値を高めて新しい魅力の創造につなげるため、郷土の文化財や遺跡をはじめとした伝統文化の保存と継承、発展を図ります。

主な施策の方向性（10）
地域に学び地域の創生につながる活動の推進

施策項目① 地域とともに取り組む活動の推進

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 子どもは、学校だけでなく地域社会からも見守られていることを実感し、地域への愛着や人とのつながりを深めています。
 - ・ 県民は、子どもを育てる当事者として地域を通して教育に積極的に関わり、地域全体で子どもを見守り、家庭での子育てを支えています。
- ◆施策
 - （ア）地域の人材や資源を活用した教育活動を展開するとともに、地域全体で子どもたちを育む体制を構築します。

施策項目② ふるさと教育の推進

- ◆施策で目指す姿
 - ・ 子どもは、郷土への誇りと愛着を持って、将来の富山県を支える意欲を育んでいます。
- ◆施策
 - （ア）富山の自然環境を学びのフィールドとし、科学的な探究心や自然を尊重する心を育むとともに、安全で快適な体験活動の場を提供します。
 - （イ）小中高の各段階に応じた教材の活用などを通じて、ふるさと富山の歴史や先人の営みへの興味・関心を高め、ふるさとへの愛着を育みます。
 - （ウ）高志の国文学館を中心に、誰もが気軽に「ふるさと文学」に親しみ、学ぶことができる機会を提供します。
 - （エ）多様な文化財の調査や、貴重な歴史資料のデジタル化を進めます。

県民と教育大綱とのかかわり（ライフステージからみた体系のイメージ）

施策で目指す姿 ※数字は関連する「主な施策の方向性」の番号を示す

ライフステージ				
小学生まで	中学生	高校生	高等教育機関など	社会で
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を定着させ、自ら考え取り組む力を身につけている。(1) ・運動習慣や正しい食生活を身につけ、心身ともに健康な生活を過ごしている。(5) ・読書に親しみ、感性や思考力、想像力を育んでいる。(5) ・地域から見守られ、地域への愛着や人のつながりを深めている。(10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に社会に参画する能力と当事者意識を身につけている。(2) ・高校の魅力を理解し、幅広い選択肢から主体的に進路を選択している。(3)(6) ・専門的な指導者のもとでスポーツや文化活動に継続して取り組んでいる。(8) ・郷土への誇りと愛着を持ち、将来の富山県を支える意欲を育んでいる。(10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな視野を持って国際社会で活躍する意欲を持っている。(1) ・家庭の経済状況に関わらず、希望や適性に応じて進路を選択している。(2) ・主体的に進路を選択して生涯にわたり、キャリアを築く力を身につけている。(2) ・魅力や特色ある教育を受け、目標に向かって充実した学校生活を送っている。(6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な教育を受け、高度な知識と実践力を身につけている。(3) ・大学等が人材育成やイノベーション創出の拠点となり、社会の発展と、未来への希望を実感できている。(3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らのニーズに応じて主体的に学び、豊かな人生を築いている。(9) ・身近でスポーツに親しみ、健康で活力ある生活を送っている。(8) ・文化芸術施設を訪れ、芸術に親しんでいる。(8) ・文化財や伝統文化の保存・継承に関わり、郷土への誇りと愛着を育んでいる。(8)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校では子どもが知的好奇心を満たし学力や個性を伸ばしている。(1) ・障害や特性に応じた支援を受け、安心して学校生活を送っている。(4) ・個々の状況に応じた場で学びの継続や学び直しをしている。(4) ・学校で落ち着いて過ごし、学校を楽しく行きたい場所だと感じている。(4) ・いじめのない環境で、思いやりのある人間関係を築いている。(5) ・安全に守られた環境で安心して学校生活を送っている。(5) ・ICT端末を日常的に活用し、学びを深めている。(6) ・教師がゆとりをもって子どもと向き合っている。(7) ・高い専門性を備えた教師から質の高い授業を受けている。(7) 				

社会全体で
子どもたちの
成長を支える

保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は気軽に相談や支援を得られ、安心して家庭教育を行っている。(5) ・家庭の事情に関わらず、子どもは十分に学ぶことができている。(5)
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツクラブや文化団体が学校と連携し、子どもの活動を支えている。(8) ・地域全体で子どもを見守り、家庭での子育てを支えている。(10)
教師	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導等の専門性を高め、質の高いキャリア教育を実践している。(2) ・特別支援教育の専門性を高め、一人ひとりに最適な教育を実践している。(4) ・生徒指導等の専門性を高め、組織的にいじめの未然防止や対応を行っている。(5) ・ICTを効果的に活用し、質の高い授業を実践している。(6) ・心身ともに健康で、資質能力を高める時間を確保している。(7) ・研修によって自らの専門性を高め、社会変化に対応した質の高い教育を実践している。(7) ・互いに学び合い、組織として教育力を向上させている。(7) ・教員の志望者は高い志と情熱を持って富山県の教員を目指している。(7) ・新規採用教員は事前の研修により、自信と意欲を持って指導にあたっている。(7)

第4回総合教育会議での意見への対応状況

	意 見	対 応
1	市町村が策定する教育大綱との関連はどのようなになっているのか。	教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、県及び市町村の首長がそれぞれにおいて国の教育振興基本計画を参酌して定めるものとされています。 県の教育大綱は、広域的な教育施策（県立高校、特別支援学校など）を主な対象とし、広域的な観点から市町村との連携や、市町村が行う取組み（小学校、中学校など）を支援することを記載しており、県の教育大綱と市町村の教育大綱で県全体の教育施策がカバーされるものと考えています。
2	第2期教育大綱と比べてどの部分がどう変わったのか、どこを見直したのかというところが少しわかりにくい。	第3期教育大綱では、主に以下の点を第2期大綱から変更し、より分かりやすく実効性のある計画とすることを目指しています。 (1)県と教育委員会が足並みをそろえて教育の振興に取り組めるよう大綱の改定にあわせて教育振興計画も1年前倒しで改定することとし、計画を盛り込んだ新しい大綱を策定。 (2)大綱は、県の新しい総合計画と「主な施策の方向性」と一致させており、また共通の「成果指標」を採用することで、県の総合計画との整合性を図る。 (3)大綱の体系を「基本理念」「教育方針」「主な施策の方向性」で構成し、分かりやすく示す。 (4)推進にあたっての視点として、子どもたちが未来に向けて自ら考え行動することができるよう、「富山・金沢子どもサミット宣言」の精神を踏まえた施策を推進する (5)基本理念を「生涯にわたる学びを通して、県民一人ひとりのウェルビーイングを高める」と設定。 (6)教育方針の一つとして「子どもたちの学びを支える教育環境を構築」を設定。
3	参考指標の選定理由や目標値設定の根拠についてわかりにくい。	参考指標は、「主な施策の方向性」ごとに、取組みの進捗状況を把握することを目的としており、県の総合計画に倣い、従来のアウトプットのなものではなく、アウトカムの要素を含み、基本理念に謳う「ウェルビーイング」が測れるものを中心に設定しています。 具体的には、全国学力・学習調査（小学生・中学生）の意識調査の結果を中心に採用しており、高校生に対しては、今後同意識調査と同じ項目を新たに調査することとしています。
4	成長段階や立場に応じた施策が作られるべきだと思っている。	「第3章 基本理念と教育方針」の「3 富山県教育大綱の体系」の次に「4 県民と教育大綱とのかかわり（ライフステージからみた体系のイメージ）」を追加します。（資料4を参照）

	意 見	対 応						
5	<p>「教員」を示す用語が全て「教師」となっており、違和感がある。</p> <p>「教師」を使うならば、定義をしておいた方がよい。</p> <p>「教員」が公務員の延長上の言葉であるのに対し、「教師」は「師」であり覚悟と責任を伴う呼び方だ。</p> <p>「教師」と表記する以上、その意図や定義を明確にしておくべき。</p>	<p>文部科学省総合政策局に、同省での「教師」と「教員」の使い分けについての見解を聞き取ったところ、以下の回答がありました。</p> <ul style="list-style-type: none">・法令で使用される「教員」の範囲は、法令ごとに定義されており、その法令内で有効なものである。・文部科学省では、「教員採用」「教員研修」など、法令に基づく内容に関するものを除き、「教師」という用語を用いている。・第4期教育振興基本計画においてもこの考え方で使い分けている。・「教師」の範囲については厳密に定めていない。「教師」は古くから尊敬の的であり教え導く師という意味で使われてきた。 <p>本大綱においてはこの見解に倣い、「教師」を用いることを基本とし、法令や制度とかかわりの強いものについては「教員」を用いることとします。</p> <p>（例：主な施策の方向性(7) 教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり)</p> <p>施策項目② <u>教師</u>の資質能力の向上</p> <p>施策項目③ これからの教育を担う<u>教員</u>の確保</p> <p>また、用語集に以下の説明を記載します。</p> <p>「教師」：学校で子どもたちに向き合い、指導を行う主体としての「人」に着目する場合</p> <p>「教員」：法令や制度に示される、公的な「資格」や「専門職」としての側面に着目する場合</p>						
6	<p>主な施策の方向性（2）の施策項目①「キャリア形成に必要な力の育成」に関して、“キャリア発達を促す”ことも明確に示せたらよい。</p> <p>また、普通科高校のキャリア教育をもっと充実させてほしい。</p>	<p>ご意見を踏まえ、主な施策の方向性（2）施策項目①を次のとおり修正しました。</p> <table><tr><th>修正前</th><th>修正後</th></tr><tr><td><p>◇施策で目指す姿</p><ul style="list-style-type: none">・子どもは、自己の在り方や生き方を探求し、学習と自己の将来とのつながりを見通しながら、主体的に進路を選択・決定できる能力と態度を身に付けています。</td><td><p>◇施策で目指す姿</p><ul style="list-style-type: none">・子どもは、自己の在り方や生き方を探求し、学習と自己の将来とのつながりを見通しながら、主体的に進路を選択・決定できる能力と態度に<u>加え、生涯にわたって自らのキャリアを発展させていく力を身に付けています。</u></td></tr><tr><td><p>◇施策</p><p>（ア）子どもたち一人ひとりが将来、社会的に自立し、主体的にライフプランニングができるよう、キャリア教育を推進するとともに、ライフプラン教育を充実します。</p></td><td><p>◇施策</p><p>（ア）子どもたち一人ひとりが将来、社会的に自立する<u>とともに、社会の変化に主体的に対応しながら自らのキャリアを発展させていけるよう、</u>キャリア教育を推進するとともに、ライフプラン教育を充実します。</p></td></tr></table>	修正前	修正後	<p>◇施策で目指す姿</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもは、自己の在り方や生き方を探求し、学習と自己の将来とのつながりを見通しながら、主体的に進路を選択・決定できる能力と態度を身に付けています。	<p>◇施策で目指す姿</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもは、自己の在り方や生き方を探求し、学習と自己の将来とのつながりを見通しながら、主体的に進路を選択・決定できる能力と態度に<u>加え、生涯にわたって自らのキャリアを発展させていく力を身に付けています。</u>	<p>◇施策</p> <p>（ア）子どもたち一人ひとりが将来、社会的に自立し、主体的にライフプランニングができるよう、キャリア教育を推進するとともに、ライフプラン教育を充実します。</p>	<p>◇施策</p> <p>（ア）子どもたち一人ひとりが将来、社会的に自立する<u>とともに、社会の変化に主体的に対応しながら自らのキャリアを発展させていけるよう、</u>キャリア教育を推進するとともに、ライフプラン教育を充実します。</p>
修正前	修正後							
<p>◇施策で目指す姿</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもは、自己の在り方や生き方を探求し、学習と自己の将来とのつながりを見通しながら、主体的に進路を選択・決定できる能力と態度を身に付けています。	<p>◇施策で目指す姿</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもは、自己の在り方や生き方を探求し、学習と自己の将来とのつながりを見通しながら、主体的に進路を選択・決定できる能力と態度に<u>加え、生涯にわたって自らのキャリアを発展させていく力を身に付けています。</u>							
<p>◇施策</p> <p>（ア）子どもたち一人ひとりが将来、社会的に自立し、主体的にライフプランニングができるよう、キャリア教育を推進するとともに、ライフプラン教育を充実します。</p>	<p>◇施策</p> <p>（ア）子どもたち一人ひとりが将来、社会的に自立する<u>とともに、社会の変化に主体的に対応しながら自らのキャリアを発展させていけるよう、</u>キャリア教育を推進するとともに、ライフプラン教育を充実します。</p>							

意 見		対 応					
7	<p>不登校に対する記述はあるが、その未然防止の根本には学校に行きたい、行きたくなる学校づくりがあるのではないかな。</p> <p>楽しい学校、行きたくなる学校づくりを目指すといった記述もどこかにあればよい。</p> <p>不登校の恐れがある児童生徒への未然防止支援や、相談支援におけるSC や SSW の活用について、具体的な取組みの中に記載があればよい。</p>	ご意見を踏まえ、主な施策の方向性（４）施策項目②を、次のとおり修正しました。					
		<table><thead><tr><th>修正前</th><th>修正後</th></tr></thead><tbody><tr><td><p>◇施策で目指す姿</p><p>・子どもは、国籍、家庭環境といった様々な背景や不登校などの困難に関わらず、一人ひとりの状況に応じた多様な場で学びを継続したり学び直しをしたりしています。</p></td><td><p>◇施策で目指す姿</p><p>・子どもは、国籍、家庭環境といった様々な背景や不登校などの困難に関わらず、一人ひとりの状況に応じた多様な場で学びを継続したり学び直しをしたりしています。</p><p><u>・子どもは、それぞれの状況に応じて校内で落ち着いて過ごすことができおり、学校を楽しみ場所、行きたい場所と感じています。</u>（記載追加）</p></td></tr><tr><td><p>◇施策（ア）具体的な取組み</p><p>○不登校やその兆候のある児童生徒が校内で安心して学習や相談ができるよう、新たに校内教育支援センターを設置する市町村に対し、支援員の配置や施設設備の整備を行うために必要な経費の一部を補助します。</p></td><td><p>◇施策（ア）具体的な取組み</p><p>○<u>不登校の兆候がみられる児童生徒や不登校から学校復帰する段階にある児童生徒が校内で安心して学習や相談ができるよう、新たに校内教育支援センターを設置する市町村に対し、支援員の配置や施設設備の整備を行うために必要な経費の一部を補助します。</u></p><p>○<u>児童生徒が抱える悩みや不安に早期に寄り添うため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを効果的に配置・派遣し、相談体制の充実と教師への専門的な支援を行います。</u>（追加記載）</p></td></tr></tbody></table>	修正前	修正後	<p>◇施策で目指す姿</p> <p>・子どもは、国籍、家庭環境といった様々な背景や不登校などの困難に関わらず、一人ひとりの状況に応じた多様な場で学びを継続したり学び直しをしたりしています。</p>	<p>◇施策で目指す姿</p> <p>・子どもは、国籍、家庭環境といった様々な背景や不登校などの困難に関わらず、一人ひとりの状況に応じた多様な場で学びを継続したり学び直しをしたりしています。</p> <p><u>・子どもは、それぞれの状況に応じて校内で落ち着いて過ごすことができおり、学校を楽しみ場所、行きたい場所と感じています。</u>（記載追加）</p>	<p>◇施策（ア）具体的な取組み</p> <p>○不登校やその兆候のある児童生徒が校内で安心して学習や相談ができるよう、新たに校内教育支援センターを設置する市町村に対し、支援員の配置や施設設備の整備を行うために必要な経費の一部を補助します。</p>
修正前	修正後						
<p>◇施策で目指す姿</p> <p>・子どもは、国籍、家庭環境といった様々な背景や不登校などの困難に関わらず、一人ひとりの状況に応じた多様な場で学びを継続したり学び直しをしたりしています。</p>	<p>◇施策で目指す姿</p> <p>・子どもは、国籍、家庭環境といった様々な背景や不登校などの困難に関わらず、一人ひとりの状況に応じた多様な場で学びを継続したり学び直しをしたりしています。</p> <p><u>・子どもは、それぞれの状況に応じて校内で落ち着いて過ごすことができおり、学校を楽しみ場所、行きたい場所と感じています。</u>（記載追加）</p>						
<p>◇施策（ア）具体的な取組み</p> <p>○不登校やその兆候のある児童生徒が校内で安心して学習や相談ができるよう、新たに校内教育支援センターを設置する市町村に対し、支援員の配置や施設設備の整備を行うために必要な経費の一部を補助します。</p>	<p>◇施策（ア）具体的な取組み</p> <p>○<u>不登校の兆候がみられる児童生徒や不登校から学校復帰する段階にある児童生徒が校内で安心して学習や相談ができるよう、新たに校内教育支援センターを設置する市町村に対し、支援員の配置や施設設備の整備を行うために必要な経費の一部を補助します。</u></p> <p>○<u>児童生徒が抱える悩みや不安に早期に寄り添うため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを効果的に配置・派遣し、相談体制の充実と教師への専門的な支援を行います。</u>（追加記載）</p>						
8	<p>施策項目の“目指す姿” に、現状や課題を示す表現が盛り込まれているものが見られる。“目指す姿”だけを掲げて良いのではないかな。</p>	ご意見を踏まえ、主な施策の方向性（７）施策項目①を、次のとおり修正しました。					
		<table><thead><tr><th>修正前</th><th>修正後</th></tr></thead><tbody><tr><td><p>◇施策で目指す姿</p><p>・教師は、働き方改革により長時間勤務が是正され、心身ともに健康な状態で、子ども一人 ひとりと向き合う時間や、自らの資質能力を高める機会を十分に確保できています。</p><p>・子どもは、教師がゆとりを持って一人ひとりと向き合うことで、安心して学校生活を送っています。</p></td><td><p>◇施策で目指す姿</p><p>（現状や課題を示す部分を削除し、記述順を変更）</p><p>・子どもは、教師がゆとりを持って一人ひとりと向き合うことで、安心して学校生活を送っています。</p><p><u>・教師は、心身ともに健康で、自らの資質能力を高めるための時間を確保しています。</u></p></td></tr></tbody></table>	修正前	修正後	<p>◇施策で目指す姿</p> <p>・教師は、働き方改革により長時間勤務が是正され、心身ともに健康な状態で、子ども一人 ひとりと向き合う時間や、自らの資質能力を高める機会を十分に確保できています。</p> <p>・子どもは、教師がゆとりを持って一人ひとりと向き合うことで、安心して学校生活を送っています。</p>	<p>◇施策で目指す姿</p> <p>（現状や課題を示す部分を削除し、記述順を変更）</p> <p>・子どもは、教師がゆとりを持って一人ひとりと向き合うことで、安心して学校生活を送っています。</p> <p><u>・教師は、心身ともに健康で、自らの資質能力を高めるための時間を確保しています。</u></p>	
修正前	修正後						
<p>◇施策で目指す姿</p> <p>・教師は、働き方改革により長時間勤務が是正され、心身ともに健康な状態で、子ども一人 ひとりと向き合う時間や、自らの資質能力を高める機会を十分に確保できています。</p> <p>・子どもは、教師がゆとりを持って一人ひとりと向き合うことで、安心して学校生活を送っています。</p>	<p>◇施策で目指す姿</p> <p>（現状や課題を示す部分を削除し、記述順を変更）</p> <p>・子どもは、教師がゆとりを持って一人ひとりと向き合うことで、安心して学校生活を送っています。</p> <p><u>・教師は、心身ともに健康で、自らの資質能力を高めるための時間を確保しています。</u></p>						

パブリックコメントの結果概要および対応一覧

1 募集期間

令和7年11月21日（金）～12月18日（木）

2 意見提出数

提出人数：19名、意見総数：37件

○性別・年代等

男性	女性	不明	計
12	4	3	19

県内	県外	不明	計
17	2	0	19

～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	計
0	2	2	9	1	1	4	19

○意見の内訳

内 容	意見数
基本理念や教育方針、施策に関するご意見	31
教育大綱全般に関するご意見	6
計	37

3 意見の概要と県の考え方について

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
1	基本理念と教育方針	8	基本理念を「生涯にわたる学びを通して、県民一人ひとりのウェルビーイングを高める」とすると、生涯学習の大綱のように見えるが、大綱の主な内容は学校教育であるので、ウェルビーイングに拘らず、学校教育の推進にふさわしい理念にすべきと考える。	<p>教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その根本となる基本的な方針を定めるものであり、学校教育のみならず、生涯教育、家庭教育、社会教育などを通じて全ての県民が関わるものです。</p> <p>次期大綱では学びの基盤である学校教育を教育施策の中心に据えつつ、学校での学びが卒業後の人生や社会生活にどうつながるのかを重視したいと考えています。</p> <p>基本理念については、県の総合計画でも示されている「県民一人ひとりの豊かで幸せな暮らし」が実現するように、生涯にわたる教育を通して「未来に向けた人づくり」を進め、ウェルビーイングを高めることが重要であることから「生涯にわたる学びを通して、県民一人ひとりのウェルビーイングを高める」としています。</p>	
2	主な施策の方向性 (1) 子どもの才能や個性を伸ばす教育の推進	11	<p>非認知能力の育成について、令和7年度富山県学力向上推進会議や第2回令和のとやま型教育推進研修会、国の第4期教育振興基本計画、中教審教育課程企画特別部会でも取り上げられている。</p> <p>あらゆる取組みが非認知能力の育成につながる可能性があるなか、例えば施策項目①「確かな学力の育成」の施策（ア）の具体的な取組み（幼児教育）に非認知能力の育成を盛り込んではどうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり追記しました。</p> <p>主な施策の方向性（1）施策項目①「確かな学力の育成」</p> <p>〔具体的な取組み〕</p> <p>○発達段階に応じた様々な教育活動を通じて、非認知能力の育成を図ります。</p>	有
3	主な施策の方向性 (3) 私立学校や高等教育機関の振興	18	<p>県立大学の充実として、以下のとおり県内の他の高等教育機関にない分野の学部を設置し、生徒の進学ニーズに応えることで、若者の県外流出を抑制できると考える。また、県の政策を反映した人材の養成、県のシンクタンク機能、中高年のリカレント教育の場としても期待できる。</p> <p>①県の研究所を改組した水産・農学系学部（県は米どころ、富山湾の漁業が盛んである）</p> <p>②閉校となる高岡法科大学の機能や人材を引き継ぐ法学部や総合政策学などの社会科学系学部</p> <p>③富山市外国語専門学校を改組した外国語・多文化理解に関する学部や情報メディア系学部</p> <p>④芸術・スポーツ系学部</p>	<p>県立大学では、平成31年に看護学部を開設し、令和6年4月には情報工学部を新設するなど、学部学科の新設・拡充を図ってきています。また、令和7年4月には大学院看護学研究科博士課程を開設し、令和8年4月には大学院情報工学研究科を新設することとしており、より高度な人材育成にも取り組んでいます。ご提案いただいた新しい分野の学部設置については、修学ニーズや課題等も踏まえて慎重に検討する必要があると考えます。今後とも、県立大学が県内産業への人材供給と若者の定着に貢献し、一層魅力ある大学となるよう、県としても支援してまいります。</p>	

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
4	主な施策の方向性 (4) 誰一人取り残さない多様性と包摂性のある教育の推進	22	外国人児童生徒に対する施策として、日本語指導教員研修の充実、高校入試でのガイダンスや外国人特別枠の選抜方法の検討、さらには高校入学後の教育課程や日本語指導体制の充実といった内容を具体的な取組みに盛り込むべきであるとする。	ご意見を踏まえ、次のとおり追記しました。 主な施策の方向性(4) 施策項目②「多様な学びの機会の確保」 [具体的な取組み] ○外国人児童生徒に対応するため、教職員研修や進学ガイダンスの充実と強化を図ります。 ○「新時代とやまハイスクール構想」を着実に進めていく中で、外国人生徒の入学後の日本語指導も含めた支援体制の整備など、具体的な取組について検討します。	有
5	主な施策の方向性 (4) 誰一人取り残さない多様性と包摂性のある教育の推進	22	外国人材(労働者だけでなく、その子ども)が富山県で暮らしやすいよう、日本語教育や日本の習慣を学ぶ教育機会を提供する必要がある。	日本語指導が必要な児童生徒が在籍する学校に日本語指導担当教員を配置しているほか、外国人児童生徒及び保護者への教育相談対応のため、外国人相談員を各学校に配置し、学級担任等により、一人一人の日本語の能力や状況に応じた指導・支援を行うなど、日本語教育や日本の習慣を学ぶための教育機会の提供に努めています。 今後とも、外国人児童生徒教育スーパーバイザーが市町村教育委員会や学校を訪問し、外国人児童生徒教育への理解を促進するとともに、日本語指導法や教材の紹介、「個別の指導計画」の作成等について支援を行い、充実を図ってまいります。 また、引き続き、外国人児童生徒支援のための定数措置の充実について、国に強く働きかけるとともに、日本語指導担当教員や外国人相談員を対象とした研修を充実させるなど、人材の育成にも努め、外国人児童生徒支援に取り組んでまいります。 さらに、子どもや配偶者を含め地域で暮らす外国人が生活に必要な日本語能力を身に付けられるよう、日本語の初期指導を実施する教室の開催などに取り組んでいます。今後も外国人材に対する教育機会の提供に努めてまいります。	

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
6	主な施策の方向性 (4) 誰一人取り残さない多様性と包摂性のある教育の推進	22	公立学校（夜間学校含む）での外国籍の子どもへの就学には反対。日本国憲法は、子どもに教育を受ける権利を保障し、保護者には教育を受けさせる義務を規定しているが、対象は日本国籍を持つ子どもに限定されている。文部科学省の外国人児童の就学促進についての通知は国会の決議を経たものではなく、多大なリスクを伴うため、地方自治体が従う必要はないと考える。	外国人児童生徒の公立の義務教育諸学校への受入れについては、日本国憲法第26条や教育基本法第5条において、教育を受けさせる義務の対象は「国民」とされています。一方で、我が国が批准している「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約」や「児童の権利に関する条約」においては、すべての人に教育を受ける権利が認められています。	
7	主な施策の方向性 (4) 誰一人取り残さない多様性と包摂性のある教育の推進	22	外国人児童の受入れは学校崩壊、教育の遅れ、学力低下を招き、親は子どもに対して、これまでと同水準の教育を受けさせることができず、本計画は親を「違反者」とするものである。また、外国人児童受入れの環境整備に莫大な税金が投入されることは、外国人優遇につながる不平等な施策である。	このため、国の方針に基づき、公立の義務教育諸学校への就学を希望する外国人児童生徒に対しては、日本人児童生徒と同様に無償で受け入れることとしています。 また、受入れにあたっては、学校への日本語指導担当教員や、外国人相談員を配置するなど、外国人児童生徒の円滑な学校生活への適応を支援するとともに、授業の円滑な実施を図るなど、日本人の子供たちを含めたすべての児童生徒が、ともに安心して学ぶことのできる学校づくりを推進してまいります。	
8	主な施策の方向性 (4) 誰一人取り残さない多様性と包摂性のある教育の推進	22	素案は国の「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」に合致する内容ではあるが、そもそも定住外国人やその子息を受け入れる移民政策に対し、県民の合意（コンセンサス）が得られていない可能性が高いと思われる。多文化共生推進の条例と同様に、まず外国人受入れの是非について県民との対話を行うべきである。	県では、外国人住民を取り巻く現在の状況を把握するため、県内の日本人住民・外国人住民・企業に対しアンケート調査を行うとともに、幅広い関係者からヒアリングを行っております。そこでは、地域住民から「外国人住民の実態がよくわからないため、不安感につながる」、「外国人住民との関わりやコミュニケーションの機会が少なく、相互理解が進まない」といった声も伺っています。 今後も、国における外国人の受入れに関する検討状況を踏まえつつ、幅広い方々から丁寧にご意見を伺ってまいります。	
9	主な施策の方向性 (5) 学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援	24	「健康第一」を教育大綱の教育方針として独立させ、教育大綱のストーリーを健康問題から学校の環境改善、社会との接点へとつなげてみてはどうか。	教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その根本となる基本的な方針を定めるものです。次期大綱の基本理念を「生涯にわたる学びを通して、県民一人ひとりのウェルビーイングを高める」とし、この理念を実現するために、4つの教育方針を定めることとし、心身の健康については教育方針2「多様なニーズに対応したきめ細かな教育と支援の展開」の中に位置づけています。	
10	主な施策の方向性 (5) 学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援	24	教育大綱の文言は、対象年齢が理解しやすい共通言語にすべきである。例えば、「健康教育と食育の推進」を「食と休養の健康学&恋愛イノベーション学」（※健康安全教育や性教育を含む造語）に変更してはどうか。	健康教育と食育の推進については、数ある現代的な健康課題の一つである「性に関する問題」のみに焦点化することなく、すべての健康に関する教育を包括する「健康教育」と、生きる上での基本となる「食育」の2つの語句を用いることが望ましいと考えています。	

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
11	主な施策の方向性 (5) 学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援	25	県立特別支援学校への学校司書配置は巡回ではなく専任とし、さらなる機能充実を図っていただきたい。	学校司書の充実に向けては、まずは、国において、学校司書の配置に向けた定数措置を講じることが、何よりも重要であると考えており、引き続き、国に要望してまいります。	
12	主な施策の方向性 (5) 学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援	25	高校の実習助手（司書）や小中学校の学校司書についても、配置目標と基準（司書資格や同等の経験）を明示すべきである。現状、司書教諭は授業で手一杯なため、図書館運営には常駐司書が不可欠ではないか。		
13	主な施策の方向性 (5) 学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援	25	具体的な取組みに「12学級以上のすべての市町村立学校、県立高等学校及び特別支援学校に司書教諭を配置するとともに、」と記載されているが、学校司書の配置も追記したほうがよい。特別支援学校の巡回学校司書だけではなく、県内の小・中・高校には学校司書が200名以上配置されており、記載が必要。		
14	主な施策の方向性 (5) 学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援	25	国の「第5次子どもの読書活動推進に関する基本的な計画」に基づき、教師が読書活動の重要性を認識し、読書活動を促進するために、教師全体の研修の必要性を明記すべきである。	ご意見を踏まえ、次のとおり追記しました。 主な施策の方向性（5）施策項目③「読書活動の推進」 〔具体的な取組み〕 <u>○教師が読書活動の重要性を認識し、子どもの読書活動を促進するための研修等を実施するとともに、学校図書館の機能充実や学校司書の指導力向上を図ります。</u>	有
15	主な施策の方向性 (5) 学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援	25	具体的な取組みに、学校図書館の情報集積機能や、子どもたちの学びを支援するガイダンス情報と学校司書の必要性、学校司書のICT指導力向上について追記していただきたい。		
16	主な施策の方向性 (5) 学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援	25	司書教諭の配置について12学級以上の学校に限定せず全校配置など、より高い配置目標を掲げるべきである。	小規模校における司書教諭の配置については、国の方針に沿った配置を維持するため、現職教員の司書教諭資格の取得を奨励するとともに、適正な配置に努めてまいります。	
17	主な施策の方向性 (5) 学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援	25	学校図書館について、本の購入費として予算の確保をお願いしたい。	公立小中学校の蔵書については、設置者である各市町村の予算等により整備・充実が進められています。 また、県立学校の蔵書の充実については、予算の確保に努めてまいります。	

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
18	主な施策の方向性 (5) 学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援	24	長時間のデジタル機器利用による視力低下や内斜視の発生、メンタルヘルスの悪化等が懸念されることから、健康教育や予防教育の充実、及び第三者による疫学調査が必要と思われる。また、デジタル機器の過敏症のある児童生徒のために、紙の学習も選択できる合理的配慮が必要と思われる。	<p>県内の学校の視力測定結果を分析し、県立学校及び市町村教育委員会に提供し、学校での健康教育に活用いただいています。また、学校でのデジタル機器の使用に当たっては、照度の確保やPCへの映り込みの防止などPC画面の見えにくさによる児童生徒の目の健康等に配慮していきます。</p> <p>健康に関わるデジタル機器の適切な利用方法の指導や、デジタル機器に過敏症のある生徒に対する合理的配慮については、各学校が生徒の発達段階や実態に応じて実施しています。</p> <p>また、ご意見を踏まえ、次のとおり追記しました。</p> <p>主な施策の方向性（5）施策項目②「健康教育と食育の推進」</p> <p>〔具体的な取組み〕</p> <p><u>○児童生徒の発達段階や実態に応じて、デジタル機器の適切な利用方法の指導や合理的配慮を行います。</u></p>	有

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
19	主な施策の方向性 (6) 学校の特色と魅力を高め、安全で快適に学べる学校づくり	28	学校づくりの項目において、国の高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン（仮称））の骨子の内容を大綱に盛り込む必要があるのではないか。	<p>大綱案には、グランドデザインの骨子の3つの視点について、①視点1に関して主体的、対話的な学びや探究的な学びを通じて確かな学力の育成を図る「子どもの才能や個性を伸ばす教育の推進」、②視点2に関して新時代とやまHS構想等による魅力ある県立学校づくりをはじめとした「学校の特色と魅力を高め、安全で快適に学べる学校づくり」、③視点3に関して特別支援教育の充実や多様な学びの機会の確保といった「誰一人取り残さない多様性と包摂性のある教育の推進」などを施策の方向性として位置付けています。今後、さらに国の高校教育改革の動向を注視するとともに、令和9年度に新設される「高等学校教育改革交付金（仮称）」も活用することにより、大綱の実効性を高めるよう努めたいと考えています。</p> <p>また、ご意見を踏まえ、次のとおり追記しました。 主な施策の方向性（2）施策項目①「キャリア形成に必要な力の育成」 [具体的な取組み] <u>○専門学科において、地域の産業界や自治体等との連携体制を構築・強化を図る取組みを推進します。</u> <u>○DX・AIを使いこなす情報活用能力を身につけた上で、社会で活躍するロールモデルを生徒自身が感じながら学ぶことができる取組みを支援します。</u></p> <p>主な施策の方向性（6）施策項目①「魅力ある県立学校づくりと魅力の発信」 ◇施策 （ア）国の高校教育改革の動向を視野に入れつつ、将来においても高校生が未来を切り拓き、夢を叶えることができるよう「新時代とやまハイスクール構想」を進めます。</p> <p>[具体的な取組み] <u>○国の「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）」の趣旨を踏まえ、「新時代とやまハイスクール構想」を着実に推進します。</u></p>	有

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
20	主な施策の方向性 (6) 学校の特色と魅力を高め、安全で快適に学べる学校づくり	29	GIGAスクール構想第2フェーズの「安全かつ高度な利活用」を実現するため、クラウドサービスの有償版ライセンス整備を推進し、校務・学習ネットワークの統合と教師の端末1台化を県内全域で実現すべきだ。有償版の高度なセキュリティ機能はネットワーク分離の制約を解消し、教員が1台の端末で場所を選ばず安全に業務を行える環境を構築するため、教員が子どもと向き合う時間を確保する上で最優先のインフラ整備である。	<p>学校におけるICT環境の整備については、国の動向を注視しつつ、富山県教育DX会議等を通じて外部有識者から助言をいただきながらこれまでも適宜見直しを行ってまいりました。</p> <p>ご提言の内容も踏まえながら、生徒・教職員にとってより使いやすく学びを深められる最適なICT環境の整備を進めてまいります。</p>	
21	主な施策の方向性 (6) 学校の特色と魅力を高め、安全で快適に学べる学校づくり	29	「確かな学力」育成を支援するため、有償版クラウドの分析・拡張機能を活用した学習履歴と校務データ統合・可視化データ基盤（教育ダッシュボード等）整備を提案する。「個別最適な学び」の実現には教員の経験則に加え客観的データに基づく指導（EBPM）への転換が不可欠であり、有償版クラウドの大容量データ蓄積や高度な分析ツールが、経年変化追跡や多角的な相関分析を可能にし、エビデンスに基づいたきめ細かな支援と授業改善を実現できる。		
22	主な施策の方向性 (6) 学校の特色と魅力を高め、安全で快適に学べる学校づくり	31	ICT活用の指標を「使用頻度」から「探究学習への貢献度」や「CBTの活用頻度」といった質的なものへ高度化し、運用のあり方も「制限」から「デジタル・シチズンシップの育成」へと転換することが重要である。子どもたちの自主性を尊重する運用により「自ら考え行動する」精神を体現し、またクラウドを活用したリアルタイムな意見共有や家庭との学びの連携を標準化することで、テクノロジーを自律的に使いこなす力を評価の主眼とするのが望ましい。	<p>ICT機器については、授業で効果的な活用をすることによって、個別最適な学び、協働的な学び、主体的な学びの充実を図ることを意識しており、県教育委員会主催の事業・研修においても主眼に置いて取り組んでいます。活用の質を高めるためにも、まずは使用頻度を多くすることが必要であると考えます。</p> <p>また、デジタル・シチズンシップの育成については、小中学生に対して、情報ネットワーク上のルールやマナーの遵守、個人情報保護、人権に関する配慮及びスマートフォンの利用の仕方等、具体的な場面に即して繰り返し指導しており、この指導にデジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力を高めることが含まれています。</p>	

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
23	主な施策の方向性 (6) 学校の特色と魅力を高め、安全で快適に学べる学校づくり	29	<p>以下の修正案を検討いただきたい。</p> <p>◇施策で目指す姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもは、1人1台端末を日常的に活用し、ICTや生成AIを駆使して自ら問いを立て、情報を分析し、協働的に課題解決へ取り組む探究的学びを日常的に行っています。 ・教師は、「知識の伝達者」から「学びの支援者」へと役割を転換し、ICTや生成AIを効果的に活用した質の高い授業を実践しています。 <p>◇施策</p> <p>(ア) 1人1台端末を日常的に活用し、ICTや生成AIを用いた主体的・探究的な学びを進められるよう、学校のICT環境を整備するとともに、学習活動に即した端末活用の仕組みを充実させます。</p> <p>(イ) ICTや生成AIを活用した授業を通じて、児童生徒が情報モラルやメディアリテラシーを含む情報活用能力を身につけるだけでなく、自ら問いを立て、協働して課題解決に取り組む力を育成します。教師は学びの支援者として、ICTを効果的に活用した授業デザインを実践し、校務のデジタル化によって教育活動全体の質を高めます。</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり追記、修正しました。</p> <p>主な施策の方向性(6) 施策項目②「学校のICT環境の整備」</p> <p>◇施策</p> <p>(ア) ICTを日常的に活用した学びを推進するため、学校のICT環境を整備するとともに、<u>学習活動に即した円滑な利用の仕組みを充実</u>します。</p> <p>(イ) ICTを活用した授業により、児童生徒の情報モラルやメディアリテラシーを含む情報活用能力など、学習の基盤となる資質・能力を育成するとともに、<u>教育活動の質が高まるよう教師のICTや生成AIの活用指導力の向上や校務のデジタル化を支援</u>します。</p>	有
24	主な施策の方向性 (7) 教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり	33	<p>具体的な取組みとして研修の充実だけでは不十分であり、教師が学び続ける自覚を持てるようにし、研修を受けやすくなるよう、管理職による研修の受講奨励や自己研鑽しやすい環境づくりなどの内容を追記してはどうか。</p>	<p>管理職による研修の受講奨励や自己研鑽しやすい環境づくりは、施策で目指す姿の「組織として教育力を向上させる」ことに含まれていると考えており、管理職が各教師のキャリアステージに応じた研修の機会を保障することが必要であると考えます。</p> <p>現在各校において、教師のキャリアステージやこれまでの研修受講履歴、校務分掌等を踏まえて、管理職が資質向上に関する指導助言等を行ってきており、今後ともこの取組を充実してまいります。</p>	

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
25	主な施策の方向性 (7) 教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり	32	子どもと向き合える環境づくりについて、現在DX化等を推進されているところ、教員の時間外在校時間削減には教員数を増やし授業持ち時間を半減することが不可欠であり、こういった抜本的な策を講じないと、2030年度目標の45時間以下の教師の割合100%の実現は困難であると思われる。また、ワーク・ライフ・バランスが成立しない状況では、若者にとって魅力ある職場にならない。	令和7年6月の給特法改正を受け、「学校と教師の業務の3分類」が示されました。 県教育委員会では、この分類に基づき、教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、業務の見直し・適正化を進めることのできる環境整備を行っていきたいと考えています。 引き続き、外部人材の活用、地域・保護者との連携等の取組みを進めるとともに、教職員定数の改善について、今後も国に強く働きかけてまいります。 また、No. 25、29、31のご指摘を踏まえて、次のとおり追加しました。 主な施策の方向性(7) 施策項目①「学校における働き方改革の推進」 [具体的な取組み] ○中期的な視点に基づいて「県立学校における働き方改革推進プラン」を策定し、教師の業務量の管理と健康確保のために必要な措置について計画を定め、PDCAサイクルを回しながら業務の見直し・適正化と必要な環境整備等を進めていきます。	有
26	主な施策の方向性 (7) 教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり	33	施策で目指す姿の内容に「教師は、お互いに学び合い、より高め合う関係を築いており、組織として教育力を向上させています。」と記載されているが、「心理的安全性の確保」を追加した方がよい。令和4年度中教審答申で心理的安全性の確保の重要性が指摘されており、教師同士が学び合い、高め合うためには不可欠であると考えます。	ご意見を踏まえ、次のとおり追記しました。 ◇施策で目指す姿 主な施策の方向性(7) 施策項目②「教師の資質能力の向上」 ・教師は、安全・安心な勤務環境のもと、お互いに学び合い、より高め合う関係を築いており、組織として教育力を向上させています。	有
27	主な施策の方向性 (7) 教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり	33	教師の資質能力向上の施策の内容に「教師一人ひとりがキャリアの各段階で求められる資質能力を確実に身につけられるよう、体系的な研修を充実する」と記載されているが、「研修観の転換」を追加した方がよい。令和4年度中教審答申で研修観の転換の重要性が示されており、県内の研修にも依然として必要な要素であると思う。	ご意見を踏まえ、次のとおり追記、修正しました。 主な施策の方向性(7) 施策項目②「教師の資質能力の向上」 ◇施策 (ア) 教師一人ひとりがキャリアの各段階で求められる資質能力を確実に身につけられるよう、体系的な研修を充実するほか、熟達した教師が持つノウハウの伝承を通じて実践的指導力を高めるなど、探究心を持ちつつ、自律的に学ぶ機会を充実させます。	有
28	主な施策の方向性 (7) 教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり	33	具体的な取組みの内容に「小中学校教師の授業力の一層の向上を図る」と記載されているが、小中学校に限定した記載となっているため全国学力テスト対策と誤解される恐れがあると思う。県民のウェルビーイングは全国学力テストの結果だけでは測れないため、高校や特別支援学校も含めた表現に改めた方が、誤解を招かないと考える。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 主な施策の方向性(7) 施策項目②「教師の資質能力の向上」 [具体的な取組み] ○児童生徒の確かな学力の充実を目指し、教師の授業力の一層の向上を図るため、授業改善のための研修等を支援します。	有

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
29	主な施策の方向性 (7) 教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり	32	教師の就業環境の改善と業務の質の向上を図るためには、教員の志願倍率を踏まえると、給与体系の見直しや残業時間の可視化と有償化が必要ではないか。	<p>令和7年6月の給特法改正では、教職調整額をはじめとする教員給与の引き上げが行われました。</p> <p>教員人材確保のためには、こうした処遇改善のほか、教職員の長時間勤務の改善が急務であると考えています。教員の時間外在校等時間を的確に把握するとともに「県立学校における働き方改革推進プラン」において、各年度における業務改善の取組みと進捗状況の点検をするなど、引き続き教員の働き方改革に取り組んでまいります。</p> <p>また、No. 25、29、31のご指摘を踏まえて、次のとおり追加しました。</p> <p>主な施策の方向性（7）施策項目①「学校における働き方改革の推進」</p> <p>〔具体的な取組み〕</p> <p>○<u>中期的な視点に基づいて「県立学校における働き方改革推進プラン」を策定し、教師の業務量の管理と健康確保のために必要な措置について計画を定め、PDCAサイクルを回しながら業務の見直し・適正化と必要な環境整備等を進めていきます。</u></p>	有
30	主な施策の方向性 (7) 教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり	32	働き方改革と教育DX加速のため、生成AIおよびクラウド拡張機能（AIアドオン等）を活用した業務自動化・効率化を具体的な取組みに明記すべきだ。教職員の多忙化解消には抜本的な効率化が不可欠であり、2030年までの計画で生成AIに言及しないことは将来的な施策の遅れを招く。また、教員自身がAIを理解し使いこなすことは、児童生徒の情報活用能力育成の観点でも極めて重要であり、クラウド拡張機能により、安全なAI利用が可能となる。	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正しました。</p> <p>主な施策の方向性（7）施策項目①「学校における働き方改革の推進」</p> <p>〔具体的な取組み〕</p> <p>○<u>生成AIやデジタル採点ソフト等を活用した校務の省力化に取り組めます。</u></p>	有

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
31	主な施策の方向性 (7) 教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり	32	教職員の長時間労働解消や精神疾患による休職者削減など、教職員の働き方改革と、いのちと健康を守る施策を計画に盛り込んでもらいたい。学校教育を担う教職員に対する配慮が足りない県政が教員のなり手不足の一因となっているため、教職員のウェルビーイング向上という観点が弱い。	<p>「学校と教師の業務の3分類」に基づき、教員の業務を切り分け、外部人材の活用や教育DXの展開など、業務の効率化と質の向上を一体的に推進する取組みを進めてまいります。</p> <p>引き続き、地域・保護者・企業のご理解とご協力もいただきながら、教員のウェルビーイングの向上に努めてまいります。</p> <p>また、No. 25、29、31のご指摘を踏まえて、次のとおり追記しました。</p> <p>主な施策の方向性(7) 施策項目①「学校における働き方改革の推進」 [具体的な取組み] ○中期的な視点に基づいて「県立学校における働き方改革推進プラン」を策定し、教師の業務量の管理と健康確保のために必要な措置について計画を定め、PDCAサイクルを回しながら業務の見直し・適正化と必要な環境整備等を進めていきます。</p> <p>さらに、「いのちと健康をまもる施策」については、これまでも定期健康診断の他に、各種メンタルヘルス事業を実施しており、今後とも、相談窓口の充実等を図ってまいります。</p>	有
32	その他	-	現大綱より見やすいが文字量が多いため、重要箇所の色分け・フォント強調や、イラスト・写真の活用などにより視認性と理解しやすさを高める工夫が必要ではないか。	ご意見を踏まえ、グラフィックレコーディングや写真を掲載し、理解しやすい大綱になるよう工夫します。	有
33	その他	-	デジタル版の利点を活かし、内部リンクで目次から該当ページに移動できるようにするとともに、調査結果のグラフなどから出典のサイトへの外部リンクを設けてはどうか。	デジタル版(PDF)において、現大綱と同様、目次から該当ページに移動できる機能を設ける予定としています。	有
34	その他	-	巻末の用語解説で各用語の定義を明確にすることを期待している。人材という用語の使用が最小限となっていることは評価する。PBLやSTEAM教育など説明のない専門用語は内部リンクで用語解説ページへ移動できるようにすることで利用者の利便性が高まると考える。	また、用語解説を充実させるとともに、外部リンク機能や、内部リンクにより本文記載の専門用語から用語解説ページへ移動できる機能についても対応してまいります。	

No.	項目	ページ	意見の概要	県の考え方	追記・変更
35	その他	-	ワンダーラボ閉館により、工学分野を学べる施設が不足している。富山市科学博物館は自然科学分野が中心であるため、工学が学べる博物館を設置してほしい。三大都市圏の科学博物館のような規模の施設は難しいと思うが、新潟県立自然科学館のような規模の施設が参考になるかと思う。	子どもたちが科学や技術、ものづくりへの興味・関心を高める環境を整えることについては、これまでも重要なことと認識しており、今後とも、学校教育や社会教育の場において、科学技術やものづくりに関する学習機会の充実に努めてまいります。 また、新たな施設の設置に関するご意見につきましては、関係部局と共有いたします。	
36	その他	-	工業県である富山県は、愛知県、群馬県、静岡県のように、将来的に外国人材の積極的な受け入れなしには産業が成り立たなくなると危惧している。そのため、外国人材の受入れに伴う他県の課題・解決事例について、県が率先して情報収集し地域住民や企業に提供すること及び情報提供の場としての地域学習が重要になると考える。	県では、他都道府県の取組情報の収集や連絡会議等を通じた外国人材の受入れに関する課題等の情報共有を行い、本県における施策の検討を行っています。 さらに、外国人材の受入れにかかる好事例の情報収集を行うとともに、県で実施している多文化共生フォーラムや企業向けセミナーなど様々な機会を通じて、地域住民・企業に対する情報提供や啓発に努めてまいります。	
37	その他	-	参考指標には学校施設の改修・長寿命化、小・中・高等学校の少人数学級の拡充、教職員の配置増、代員不足解消、待遇改善など、県の財政措置に関する内容を盛り込むべきである。私立学校への手厚い財政措置に対し県立学校が冷遇されている。	参考指標は、「主な施策の方向性」ごとに「施策で目指す姿」を明らかにしたうえで、取組みの進捗状況を把握するための参考となる指標を設定するもので、県の総合計画に倣い、従来のアウトプットのなものではなく、アウトカムの要素を含み、基本理念に謳う「ウェルビーイング」が測れるものを中心に設定しています。 具体的には、全国学力・学習調査（小学生・中学生）の意識調査の結果を中心に採用しており、高校生に対しては、今後、県において同意識調査と同じ項目を新たに調査することとしています。 大綱に盛り込む「具体的な取組み」を行うことにより、「施策で目指す姿」にどれだけ近づいているかを客観的に測定・評価し、必要に応じて取組みの内容を弾力的に見直したいと考えています。	